



『庄内藩校致道館の完全復活で鶴岡の活性化』

若者が将来ビジョンを思い描くための致道館を復活させ「鶴岡の未来を知り」「鶴岡の生活を知る」

流出
**1000
PERSON**

私たちの解決したい課題と現状

県外流出する若者が年間 1000 人いる。そのまま県外に定住する傾向が強い。「地元の魅力を感じない」「日本の中心は東京だし。。。」「このような考えで首都圏に行ってしまう若者を鶴岡に戻したい。

鶴岡の魅力

職住隣接・サイエンスパーク(研究施設・教育施設)・鶴岡未来健康調査
豊かな自然・先端バイオ産業・ユネスコ食文化創造都市・伝統の庄内文化

サイエンスパークをはじめとする研究機関や教育機関。産業に目を向ければ石油を使わない人口タンパク質繊維開発・唾液による癌の発見・移植用心臓組織の製造など今後の日本を支える産業。年観光客数 600 万人 Gaijin Pot Travel2019Top10 でユネスコ食文化創造都市など…

地方都市発展の条件と鶴岡市のポジション

「良い子育て環境と教育」「発展が見込まれる産業」「職住隣接でかつ余暇を楽しめる環境」「健康で長生きできる仕組み」生まれてから死ぬまで人生のすべての絵が描ければ鶴岡で暮らしたいと思う考えた。鶴岡市の発展のポテンシャル。それを若者が知れば将来鶴岡で暮らす選択も…

- ① 良い子育てできる環境(子育て・幼少期) : 職住隣接が家族団欒を創りそれが良い子育ての環境になる
- ② 良い教育をできる環境(小中高・少年期) : 致道館の思想が良い教育を創り、その実践こそが未来を育む
- ③ 余暇を充分楽しむ環境(青年期・壮年期) : 朝日連峰/庄内海岸でアウトドア、出羽三山/町中で文化探求
- ④ 発展が見込まれる産業(就職・雇用) : サイエンスパークの先端産業、食文化創造都市等で食&観光
- ⑤ 健康で長生きの仕組み(老年期) : 鶴岡みらい健康調査が 1 万人で創る生活習慣病撃退の仕組み



庄内藩校致道館の完全復活

《致道館とは》 -子供と大人が一緒に過ごすことで子供が自分の将来の姿を身近に感じることが出来ていた-

徂徠学

原典を自分の力で読み解く

- 自分でテキストを選ぶ
- 自らの力で学習する

政教一致

藩校で藩政を執り行う環境

- 学ぶが良い藩政の原点
- 藩校を藩庁へすべき

身近に儀範

学舎に大人までごちゃまぜ

- 子供～大人まで藩校に
- 大人の姿見て育つ子供

《致道館完全復活への第一歩》 -若者が鶴岡のミライと鶴岡の生活を感じる仕組みで鶴岡に誇りを-

キッズドームソライ放課後学童クラブを軸に学童クラブの小学生と高校生、さらに小学生の保護者(子育て世代)を結び付け、高校生が鶴岡の生活・鶴岡のミライが見える仕組みを構築する。

交流会

高校生と学童の保護者との交流会・鶴岡の未来講演会の機会

メンター制度

学童のメンターは高校生・高校生のメンターは学童の保護者

学童運営研修

学童保育の運営の一翼を高校生が担い、企画力・行動力を育む